



風もないのにひらりと落ちる葉に、秋が訪れた事を感じる情緒あふれる言葉。

木の葉の落ち始める初秋の頃、他の木より早く落葉する青桐の葉の一枚が落ちるのを見て、いち早く秋が来たのを知る意（僅かな現象を察知して予知すること）から、「一葉落ちて天下の秋を知る」ということわざもあります。

9月中旬現在、夏の長雨や酷暑により生育不足に大きく影響を受けました。一部商品について、出荷制限、当面は販売を休止することになり、日頃よりお世話になっているお客様にはご迷惑をおかけすることになり大変心苦しく、申し訳ない気持ちでいっぱいです。年内の冬に再開できるような、畑では1ミリでも伸ばせるよう、工場では1枚の葉でも大切に扱うようにと努めて参ります。

こと京都株式会社

古都・事・言 3つの「こと」を伝えます

ことねぎだより

NO.161

2020年10月号
TEL: 075-601-0668

こと京都株式会社

今月の

ことねぎ

今月、みなさまにお届けする九条ねぎが京都でどのように育ったものなのか、物語（事）を少しでも知っていただき、より美味しく召し上がっていただければと思います。

慎重にスタート、秋葱のお届け

7月中旬ごろに美山・亀岡で定植したねぎをお届けします。

7月は、例年にないほど雨が降り続けました。ねぎにとって水分は必要ですが、多すぎる水分はねぎの根にダメージを与えてしまいます。

更に8月は雨がほとんど降らず、ねぎにとって過酷な環境が2ヶ月続き、農人一同栽培管理に苦労しました。

その中でもできる限りの世話をし、1本でも、1枚の葉でも大切に意識して、ねぎを扱いお届けしています。



農人たちの畑での作業の様子、THE 農業!の現場の「こと」を発信



広い面積の畑でも、タフバンドならピンポイントで広範囲に倒伏を防げます



台風シーズンの最中、冬に向けての準備開始

8月は、京都に上陸はしなかったものの3度台風がやってきました。特に8月末に発生した台風10号は「戦後最大級」と言われる大きさ・強さということもあり、京都にも風の影響を受ける恐れがあったので、タフバンドによる倒伏防止対策を農人みんなで一斉に行いました。

これは数年前からおこなっている対策で、圃場にあるねぎを倒伏から守ることができ、低コストで時間も比較的にかからないので有効な対策として取り入れ実施しています。結果的には、大きな影響もなく、少し傾いたり葉折れする程度でほっと一安心。10月までは「まだまだ台風がやってくるのでは…」と常に最新情報に注意し準備を行っています。

「台風がくると」わかる数日間の猶予があるので対策が打てます。

一方、京都市内の圃場では、これからの冬ねぎ作付けへの準備を進めています。

今年は、緑肥散布を行い連作障害への緩和に取り組んでいます。そこで問題になるのが、刈り取り。今までは刈払機による刈り取りを行っていましたが、京都市内の圃場は広大でとても追いつきませんでした。そこで、農機メーカーの方に「オフセットモア」というトラクターにつける草刈り機を借りて使用する機会がありました。スピードは圧倒的で、皆一瞬で欲しいと思うほどでした。来年には手に入れられるように、今年がんばろうと意気込みました。



トラクターにつけてその動力で高速な刈払機に!